

事は既に報じエガ争議團慰問。為票おこし一万二千個を寄贈し来たりて直に各争議團に分配し家族に賜ふ事とす

▲都下市役争議応援團は更に応援活動を進め傳單五万枚作成全市に配布す

▲応援金一千円各支部に配給。裏に大阪より応援金一千円を各支部に分配し

▲応援金繰々と集まり。今日迄上集まつた金は左の如く

四日	五百円	大阪自助会	八日	百五十円	大阪電気労働
五日	五百円	大阪自助会	一日	四百円	下市林氏
六日	一百円	中部交通労働	二日	二百円	横濱市電線談会
七日	一百円	華果 燈 吉	三日	百五十円	親交会
八日	一百円	中部交通労働	四日	十円	市電工友会
九日	一百五十円	東運従業員組合	五日	三十円	大阪自助会
十日	五十円	玉電従業員組合	六日	三百五十円	神戸市電従業員組合
十一日	二百円	大坂電友会	七日	五十円	大坂市電従業員組合

▲十日午後一時迄の応援金計八千四百五十円突破した

▲スミヤック職員の不満高まる。我々のストに對してスミヤックを罷り裏面約には争議團を擁護せんとするに至り電氣局は腹背を離れ警署に人々を誘ひ至り我々のストを切り崩さんとす。足下の崩壊せんとす。大旅費を極めてゐる。

スト情報 茅指老報 (續キ) 九月十日午後六時 争議團本部書記局

▲家族陳情團四百五十九名突破。家族陳情團四百五十九名に及び十五名を一組として一斉陳情に出動した

▲声明書発表首脳部二名監視。出頭強制調停に對しては指令に依り首脳部の方針をハンキリした。更に社会的に我々の立場を鮮明にすべく声明書を発表し首脳部河野、野手両君は監視に出動した

▲電事新居本部指令は直に復寫して各組に配布。一方毎日二回乃至三回の地区及支部にストス条行。本部より一月スト指令に基き各人二月迄を徴収し負即時納入

▲電事青南一月のストの指令に基き全二月迄の徴収即日成功。日交派婦人事掌の哀切りも漸次減り去る。更に過きおひ、大改選後全人は負割に組に分配した。所非帯に感服し右にがかり付りても勝る相おらふといふ計守人玉燃え並れた

▲電事尻尾全欠四十ヶ所に分布用長級制を設け是等不統制派は毎日俱に部には五十名位先交際を基合也。且家族も動員出動の手停りと電事全専を困難にせむ。スト一月計画に對しては無用迄の徴収成功。又用先正動